

# 認 証 状

The International Association  
of  
Y's Men's Clubs  
CHARTER

TO ALL TO WHOM THESE PRESENTS SHALL COME, GREETING:

Know Ye, that THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS has granted, and by these presents does grant, to the members whose names are affixed to the charter application and to all regularly elected members, and their successors, THIS CHARTER, fully constituting them a Local Club under the name and title of

The Y's Men's Club  
of  
Kyoto - Palace

with all the rights and privileges given to members of The International Association of Y's Men's Clubs according to the rules and regulations of the Constitution and By-Laws of the International Association now in force and hereafter enacted.

This Charter shall be in full force and effective from the date hereof and for such time as the members of the Local Club shall conform to the laws and rules of the International Association; otherwise this charter shall be revoked.

In Witness Whereof THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS, by its proper officers duly authorized in the premises, has hereunto affixed its signature and caused its seal to be hereunto affixed this 19th day of January in the year of Our Lord Nineteen Hundred and Seventy One.

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION  
OF Y'S MEN'S CLUBS



By J. R. P. P. P. President

Attest Bernard H. Hoag Secretary General

Charter Presentation Date March 14, 1971

# 京都パレスワイズメンズクラブ バナー





# 五年の歩み

## 目次

メッセージ	7
京都パレスワイズメンズクラブ会則	16
年度別役員一覧表	30
いざたて	31
パレシアンソング	32
チャーターナイトの思い出	33
第1年度	49
第2年度	167
第3年度	241
第4年度	291
第5年度	355
メンバー一覧表	403
編集後記	413

< 表紙 田中 勝 君 >

# メッセージ

## 京都パレスワイズメンの諸兄姉

国際会長 鈴木謙介

京都パレスクラブが、早くも創立五周年を迎えられると承わり、当然の様な、又一寸驚いた様な感慨を抱いて居ります。今から五年前、京都パレスクラブの誕生は日本のワイズダムにとって、新鮮な喜びと驚きだったと思います。京都という古い伝統と慣習に閉ぢこめられたと一見思える土地に、従来のカラを破ったユニックなクラブが発生したからでした。その後、クラブの皆様がたてられたプログラムは、これ又ユニックなものも多く、多くの先輩クラブを「アッ」といわせるものが多かったと思います。

この五年の間において、そこには多くの試行錯誤があったことでしょう。いや、あるのが当然です。京都パレスの様な能動的な、振幅の広いクラブにとっては。然し5年の歳月は決して無駄であったとは思いません。この間にあって傷ついたり、感謝したり、歎いたり、喜んだりされた無数の体験の積み重ねは、必ずや、来るべき5年に向って大きな資産として、又、皆様の自信として開花し進展されることを固く信じるものです。

まったく天下大動乱(周恩来の言葉)の世界、アジア、日本、京都の諸状況の中にあって、この五周年の記念日を守られることはクラブにとっても、反って意義あることかと思ひます。こういう時にあたって、過去の経験の成功と失敗との評価を厳しく加えることが大切ですが、同時に、この時においてクラブ全員、(メネットの皆様も含めて)もう一度ワイズメンの理想や基本の目的に立ち帰り、古い思いやキズナをたち切って、新しい幻を形成するための徹底的な分析と、再出発のための果敢な決意を固める準備をされる必要があります。

私自身日本からアジアから初めてelectされた国際会長の任期の間にもありますが、そのstatusによって当日は貴クラブを訪問し祝辞を述べる事が出来ますのは一生の喜びであり光榮であります。

近来、ワイズの行事が少々派手になって来ている風潮が見られますが、私共は他のサーヴィスクラブのマネをする必要は全くありません。ワイズメンらしい、心のこもった、質素な記念会を持つとされていることを予め承はって、全く同感ですし賛成です。当日は参上の上で、私のワイズメンについての所感をまとめて申上げる心算ですが、こゝに全世界のワイズメンを代表し、今日までのご成功に対し深く敬意を表し、今後の五年更に十年に向って雄々しく大きい勇気を以て出発せられ必ずや今迄以上の多彩な成功と目標の実現をされることは信じて疑はないところであります。どうか今日のこの日が更に大きい金字塔の建設のためのスタートの第一日となります様にとお祈り致す次第であります。

## メッセージ

名誉理事 奈良 伝

貴クラブの結成と加盟5周年記念を迎え、心よりおよろこびを申します。作年の今頃、「京都YMCA七十年史」を手に入れ、若い野村武夫主事の手により、羨ましいほど見事に書きつづられた歴史の本に、思わず読入りました。このような記念行事の際、私が頼まるれば「温故知新」の四字を揮毫する慣わしですが、要は歴史を心にとめて、新しき事態と取組もうとすゝめている次第。どうぞ回覧されて、ぜひ共ワイズメン諸君がこの歴史書に親しんでほしいものと思います。

戦前北京YMCAと韓国ソールYMCAの両会館を見て、それが共に米国フィラデルフィヤの百貨店主ジョン・ワナメーカーの寄附を元として建ったことを知りました。それは京都とも同様、同時でした。

北米YMCA同盟総主事ジョン・R・モットがパリに出張中、同じく同地滞在中のワナメーカーと会同、密室で共に祈り、東洋の三大都市の青少年の明日のため、三つの会館を思い切って寄附する約束を結んだからです。

気の遠くなるような2万5千弗にのぼる会館寄附金を受けた京都Yの指導者達は、市の中心地、最も繁華な場所に最新式のゴージャスな会館建設ができ、どんなにか自信と誇りを深めたことでしょう。当時は明治の末葉、東京・大阪に較べてもそれは最も新しい夢どりの会館であったからです。

そのためというか、70年をけみした今もなお、巧みにそれは活用せられております。が同時に幾つかの難題を宿し、容易に第2の新会館を生むことができなかつたようでした。しかし遂に活路が開かれ、殊に同志社YMCAゆかりの跡地に立派な青少年センターが京都人の手で生まれました。それは大阪万国博の時でした。私共は新しい皮袋に盛る新しい酒はいずこより求められるか、探求してみたいような熱意の衝動を覚え、それが第2の新しいワイズメンズクラブの胎動をももたらしました。幸いでしたネ！ふさわしい英知の人選で、見事な誇ってもよいクラブが翌年誕生したのでした。

5年経った今、既にいろいろの体験を得られたワイズメン諸君が、喜びのうちにも、心を新たにし、京都YMCAに活力を捧げてサービスさるゝように、またよりよきクラブに成長さるゝように、よきワイズメンとしてのリーダーシップを磨かるゝよう、おすゝめ申し祝辞といたします。

## お祝いのことば

日本区理事 片岡健彦

京都パレスクラブの皆さん、チャーター5周年お目出度うございます。歴史の古い静かな京都に若さとバイタリティに溢れた京都パレスの存在は余りにも有名で、5周年と聞いて間違いではないかと一瞬疑った位です。それ程京都パレスの成長は目覚ましく、今や押しも押されもせぬ大クラブに発展された事は他に例は少いと申しても過言ではないと思います。

私は理事に就任する迄は余り接触する機会に恵まれなかったのですが、大野氏にCS事業主任をお願いする事になってから急にパレスとの御縁が深くなり、まだ例会に出席した事は有りませんが、京都を訪問して役員の方々とお会いしてから急に親しみを感じ、毎月ユニークなブリテンを拝見するのが楽しみの一つとなりました。気の合った若いメンバーが揃って居られる為か出席率も抜群で、ワイズの中堅クラブとして、今後ますます御活躍下さることを心から願ってお祝辞と致します。

## 創立5周年におもう

北西部部長 水野清一

京都パレスクラブが5周年をお迎えになったことを、心からお祝いお喜びを申し上げます。5年目にして、今日の京都パレスの充実したクラブの歩みは、北西部の中でも、ひとときは目ざましいものがあります。長い歴史と伝統をもたないクラブが、着実に新しい歴史を形成して行く過程は、力強く活気に満ちたものであります。それは卓越した一人の力ではなく、メンとメネット、会員相互の和によるものであり、そこに結集されたクラブの総力であろうと思います。

時あたかも、"ワイズメン途上での出会い"が国際標語となり、北西部においても"出会い"が語られました。人間というもの一人では生きてゆけません。生きること。幸福。よろこびは、自分ひとりでは味わえないのです。こうした人間同志が互いに相手の人格を認めて、正面から出会う場が、ワイズメンズクラブであり、ワイズメンズとの出会いによって、生きいきとした喜びを知ることができます。

ワイズメンの役割は、本当の出会いを実現させることでありましょう。人と人との出会いが、いろいろの人生にさまざまな人間模様を画きだすことは当然ですが、神と人との出会いがもたらす大きな働きを否定することはできません。

メンバーが主体的に考え、行動し、人格的な世界で人との交わりをもつこと。そして、キリストの十字架の精神のもとに立った歩みの中に、神との出会いを果すことであります。すなわちワイズの活動の実践であるといえましょう。

社会のリーダーシップを持って立つ京都パレスクラブのなすべきことも、おのずと明確であります。それはキリストによって結ばれたワイズの精神を、YMCAを通して生かすことであると信じております。

京都パレスクラブのお働きの、心から祈ってやみません。

## 理想と夢を

京都ワイズメンズクラブ会長 本 島 紀 之

街をよぎる風の匂いも、なんとなく甘いような、そんな春の気配を感じる今、5周年を迎えられた京都パレスワイズメンズクラブのみなさんに心よりお祝いを申し上げます。恐らく貴クラブに対し、各地のワイズダムはパイタリティーな若さあふれるクラブだと称賛の拍手をおくっていることと思います。そんな魅力ある貴クラブを身近に在している親クラブとして、此の上ない誇りと喜びを感じております。

何かと京都YMCAを通じて接触の機会の多い両クラブですが、私は常に心を動かされて来ました。恒例になっているサバエキャンプ場での、ファミリーそろっての奉仕活動、YMCAバザーに見せるあの凄まじきまでのエネルギー。そして、いたるところで各メンバーが働き手として活躍されている姿を忘れることは出来ません。

私達ワイズメンは、いつも理想と夢を追いつづけなければなりません。その理想と夢に少しでも近づけ実現させていくのは、若さと心の和です。若さとは、勇断と行動力を秘めています。若さは身体だけでなく心の様相を意味しています。それらを兼ねそなえた貴クラブの前途は洋々としております。

今、私達ワイズは新旧の交代の時期にさしかかっております。先輩達が築いて来たワイズの心を、たやすことなく、若い私達の手で育てていこうではありませんか。5歳の年を迎えられた京都パレスワイズメンズクラブのみなさんが、よきリーダーシップをとられ、今後益々御発展されることを、心よりお祈り致します。

福知山ワイズメンズクラブ会長 田 中 基 靖

京都パレスワイズメンズクラブが誕生して早や5周年を迎える事になり、我が福知山ワイズメンズクラブより先ずおめでとうを申し上げます。

京都パレスクラブのその新鮮味と、より近代的な感覚は、全国のワイズメンズクラブを見渡して見ても何か他のクラブと異って我々に華やかな感じを与えてくれます。そして積極的で進歩的だ、ワイズメンの革命児……と云いたい様な気になる。「今や少年期より青年期を迎えるパレスクラブ」といつかのブリティンに書いてありましたが、今迄の少年期はとても良かったと思います。これからの「青年期」に於ても過去の良さは決して忘れないでいただきたい。故意にその形態を変えようとする、そこに不自然な点が出てくる。子供が一人前の大人になる迄にいくつかの反抗期を迎えるが、ワイズメンズクラブに於ても時にはゆきづまりが出て来る事がある。その場合、大局を見て、いさゝかの被害はあっても進まねばならない。お互いの友が話し合って良い点を見出し、少しずつ進歩して行くことが最もいいのではないのでしょうか。我々福知山クラブが、パレスクラブに向かってとやかく云うことは何もない。我々福知山クラブが自覚しなくてはならないことなのかも知れない。私達は兄弟クラブ、常に理想に向って強い義務感を持って権利には必ず義務が伴うこと、誠実に行動する者である事を忘れないでゆきましょう。

最後にパレスクラブの発展を心からお祈り申し上げます。



## お祝いのことば

京都 Y M C A 理事長 湯 浅 八 郎

日本のワイズメンズクラブは、その奉仕活動の視野と内容において世界の運動を先駆し指導している由承っていますが、その一翼を担う京都パレスクラブが、今や創立5周年を迎えられますことは、京都に住む Y M C A 人の一人として心より神に感謝し謹んでお祝い申し上げます。

人類は、今や地球時代を迎えて人類進化史上、空前の原子力革命の最中にあるものと想われるのでありますが、私は Y M C A 運動はあくまでも神の摂理の下にあるものと確信いたします。摂理の下にあるということは永遠の使命をもつことを意味します。活動のプログラムや領域は時代と共に推移することは当然であり必然であります。キリスト教的宇宙観、歴史観、人間観などに基づく人間育成、人格形成の課題は、Y M C A の不変の使命であると申さねばなりません。

京都パレスワイズメンズクラブの諸兄がこの認識に基づいて、多彩で有効な奉仕活動をつづけて下さるよう祈念しておよろこびのことばを結びます。

京都 Y M C A 総主事 高 谷 泰 市

パレスワイズメンズクラブの5周年を心からお祝い申し上げます。

春のはじめのこの三月は希望の芽をふくらませ、活力に溢れた若さをあ  
らわして、このクラブの誕生にふさわしい月であると思います。

京都 Y M C A が、御所の西側に、より地域社会への奉仕をしようと建設  
した青少年センターの完成とほとんど同時に、こゝを本拠とするパレスワ  
イズメンズクラブが誕生したのであります。青少年センターも5歳になっ  
てようやく京都市民からも認められるようになってきました。最近の本会  
の企画室の調査によりますと学生層においては、三条本館より青少年セン  
ターの方がよりよく知られているというデータもでています。このように  
青少年センターが知られるようになった背後にパレスワイズの大きな働き  
のあったことを忘れることはできません。

青少年センターは、この5年間に新しいプログラムを次々に企画し実現  
してきましたが、これらのプログラムに多くのパレスのメンバーが家族ぐ  
るみで参加される他、バザーの飛躍的な拡大への奉仕、サバエキャンプの  
設営撤収の毎年の労力奉仕、正会員の拡大への協力や、地域活動への協力  
等、また事業委員として活躍され Y 活動の発想の転換に大きな役割を果し  
て下さったことに敬意をあらわし、心からお礼を申し上げたいと思います。

ワイズメンズクラブとしては、日本区の中でも実にユニークな存在であ  
り、最も活力に溢れ、メンバーのバラエティーに富んだ、しかもチームワ  
ークの良さには定評があり、注目されていることは申すまでもありません。

今後もクラブのメンバーの社会生活を通じて Y M C A 青少年活動に、あ  
る時は外側から、ある時は内側にたって積極的な批判とご協力をお願いす  
るとともに、次の5年に向ってますます発展されるようお祈りする次第で  
す。

## 京都パレス讃歌

元日本区理事 鳥居 一 良

“一つ、生れた、京都のパレス  
二つ、双葉の、パレスのワイズ  
三つ、みんなで、力を合わせ  
三条、賀茂川、東山  
パレスは、これから、大きく伸びる”

五年前、京都国際ホテルでのチャーターナイトで、あの元気はつらつ、若さに溢れて入場された、京都パレスワイズの晴姿を見て、「頼もしいクラブ誕生」と、満場のワイズは万雷の拍手を送ったものだ。

\* \* \*

一年、二年、三年と年輪を加えて、はや五年。確かに立派に育ったこのクラブ。大きく伸びた今日の晴姿に、ふたたび喜びの讃歌を贈ります。そして、この優良児の生みの親、京都クラブワイズに深い敬意を表します。

過ぎし歳月のかずかずを想い、一つ一つの年輪の力と重みを感じつゝ、見えざる神の恵みを感謝します。

\* \* \*

今や、国際の顔、京都パレス。

明日からは、日本、アジア、世界に、力強く大きな翼を拡げてゆくであろう。

そして母体である、伝統に輝く京都 Y M C A の発展のため、共に働き、共に助け、共に生きて、地域奉仕活動の輪を拡げ、益々世界のワイズダム運動に貢献されますよう、心から祈り、次の聖句を贈ります。

主はとこしえの神、地の果の創造者であって、弱ることなく、また疲れることなく、その知恵ははかりがたい。

弱った者には力を与え、勢いのない者には強さを増し加えられる。

年若い者も弱り、かつ疲れ、壮年の者も疲れはてて倒れる。

しかし主を待ち望む者は新たなる力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。

(イザヤ書 40章)

## 新たなる前進を願って

元北西部長 片 山 巖

京都パレスクラブ5周年、今、チャーター当時を思いつつ心からお祝い申し上げます。

クラブとしては若さ日本一を誇り、過去5年間その若いエネルギーを活し多くの活躍と功績を残されたことは周知のところであります。

そして今ではクラブから日本区役員が選出されるまでになられ誠に喜ばしいことです。

この5年の社会は日本にとっても、世界にとっても本当に激しい変調であり、機械化された社会では人間性の阻害、断絶等の問題が大きくなり、一昨年からは急激なインフレと不況の社会の中であって人々はただ我が身を守ることにのみ終始し、まさに人類の危機であります。そうした流れの中でワイズメンズクラブの活動の舞台は日本は勿論、特にアジアに移りつつあって、主イエスキリストによる平和を心から思い前進し続けていることです。

昨年は国際大会が日本で開催され、今やワイズのプロフェッショナルこそ最も大切なことであり、一つ一つのクラブ充実がワイズ発展のもとであると思います。その変調のリズムを敏感に受け止めて若さによって見事に克服されそのメンバー数に於ても充実し、現在はそのチャーターメンバーによって会長を中心に活躍されていることは、共にある仲間として感謝にたえません。

ワイズメンは、いつ如何なる時に於てもYMCAにのみその基盤を置くもので、そこに存在理由を持つクラブであり、YMCAを援け、奉仕と誠によって前進して行くものであることを今、新たに再確認していただきたい。

YMCAの三角は最も不安定な一点を下に位置されていることであります。止まれば倒れる。最も簡単なあたりまえのことであるが実は大へんなことで、その意味は広く深いものがあり一口に云って「動」でありYMCAは常に活動していると云うことであります。これからはYMCAに活躍する多くの青年たちと交わり共に働らくワイズメンとして努力していただきたい。この5年間の幾多の経験を謙虚に受けとめ、反省し更に前進への決意としてほしい。どうかその若さをいつまでも持ち続け、動くワイズメンとして今後はますますYMCAの青年の社会的な先輩としての責務を果され、その強いリーダーシップを開発、発揮されるよう祈ります。

## 京都クラブ 小 谷 博 康

京都パレスクラブの皆様チャーター五周年心よりお祝い申し上げます。  
1971年3月14日は私の人生において、忘れることの出来ない日です。  
28人のメンバーが全世界のワイズメンの祝福を受けられてスタートした  
日です。自信にあふれた28人のメンバー一人一人の顔が思い出されます。  
あれから早くも5年の歳月が過ぎ去りましたが、この5年間にパレスクラ  
ブの残されました功績は全世界のワイズメンの模範とするところです。

私は常々ワイズマンたるは行動あるのみと確信して参りました。初代西  
崎照一会長より現在の大村伝会長までの5年間まさに義務と行動力で我々  
日本区の牽引車であり、世界のワイズメンの見本であったことは過言では  
ありません。思いおこしますに最初設立の際、京都クラブの様な力ではだ  
めだとか色々とクラブ内でも意見が出ましたが、私は一にも二にも第二ク  
ラブの設立が京都クラブの最良の道であると信じ、役員はじめメンバー各  
位のご協力によって、多少強引かと思いましたが、設立に押し切ったもの  
でした。予想どおり、ここに京都パレスクラブ誕生をむかえたのでした。  
現在のすばらしいクラブのある最大の原因は、第一にワイズダムにより一  
体となろうの標語の様にメンバー全員の行動力と責任感の強さであります。  
私は色々の世界のクラブを訪問しましたが、このパレスクラブには独特の  
カラーがあることです。その中でもあのなごやかな空気にも感銘をふ  
かくさせられるものです。ひらたい言葉で申し上げれば人の和とでも申し  
ましようか。人の和がこれほど徹底してクラブ内のすみずみまで広がって  
いるクラブは外に例をみないでしょう。私は、さすがこれだけの短期間に  
世界に注目されるようになった京都パレスクラブだけのことはあったと思  
っています。本当によくここですばらしいクラブを築きあげられました  
と痛感するのみです。これからのクラブのご発展は陽を見るよりも明らか  
です。どうぞ自信をもってめぐまれた才と和を更に集結され存分にワイズ  
ダム発展にご尽力なされることを心よりお祈りします。

重ねて、チャーター五周年心よりおめでとう申し上げます。

# 京都パレスワイズメンズクラブ 会則

## 会員の常に心がけること

### 1) 例会には、皆出席すること

家族や友達は勿論、関係先や、社友にも、例会日と時間の事を理解してもらい、仕事の方もうまく時間をはずし、あなたが100%出席になるように、努力しましょう。  
集まるところに始めてクラブが有るからです。

### 2) 会合の時間を厳守すること

あなたも会合の時間に遅れない様に、早い目に出ることです。又、決められた閉会時間も延びない様に。

### 3) 積極的に委員として働くこと

「忙しくて……」と誰でも言いますが、ワイズメンにひまな人はありません。忙しい中にも奉仕することが、その中からワイズメンの精神が生まれ、活かされて、ワイズメンの良い働きが成されます。クラブでは頼まれたら断わらない習慣を付けよう。

### 4) 新会員の獲得に心掛けると共に、常にクラブPRしよう

常に成長しないクラブは衰退します。あなたも、新会員の候補者を発見し、例会に招く様に努力しよう。又、機会あるごとに友人にワイズメンズクラブのことを話し、お互いにワイズメンであることを誇りに感じる程、素晴らしいクラブにしましょう。

### 5) 会費をキチンと納めること

資金が無くてはクラブの運営はできません。会計を困らせない様に会費はキチンと納めよう。

# 目 次 ( A )

## 京都パレスワイズメンズクラブ会則

第 一 章	総 則	序 章	
		第 1 条	名称とスローガン
		第 2 条	目 的
		第 3 条	運営の原則
		第 4 条	事 業
第 二 章	会員及び会費	第 5 条	会員の資格
		第 6 条	会員の職業分類
		第 7 条	会費及び入会金
		第 8 条	退 会
		第 9 条	会員の失格及び除名
第 三 章	会 合	第 10 条	総会の決議事項
		第 11 条	総会の種類
		第 12 条	総会の成立
		第 13 条	例 会
第 四 章	役 員	第 14 条	役員の種類と構成
		第 15 条	役員を選任方法
		第 16 条	役員任期
		第 17 条	役員任務
		第 18 条	役員会と召集
第 五 章	会 計	第 19 条	会計年度
		第 20 条	収 入
第 六 章	会則の改正	第 21 条	会則の改正

## 序 章

吾がパレスワイズメンズクラブの会則は、＜協調と団結＞から、自然発生的に生まれた定めであり、それは、あたかも天地に自然の摂理が存在する如く、会則が有ってクラブが有るのではなく、クラブが有って会則が存在するものである。つまり、クラブ員としての個々の自覚と活動が会則を有形、価値高きものともなし、又、有名無実のものともする。決して、会則の掟でしぼられる行動の自分であったり、その程度のクラブ意識であってはならない。

パレスワイズメンズクラブの＜灯＞が永久不滅の誇り高きものとなり、永遠に友好と団結の和が続き奉仕の輪が無限に広がっていくことこそ会則の真の価値に結びつくのである。

## 第 一 章 総 則

### 第 1 条 名称とスローガン

- 1) 本クラブは、京都パレスワイズメンズクラブと称し、ワイズメンズクラブ国際協会に正式に加盟し、その管轄下の下にあり、その会員をワイズメン ( Y' SMEN ) と言う。
- 2) この会のモットーは「強い義務感を持つ、義務は全ての権利に伴う」である。

### 第 2 条 目 的

このクラブの目的は次の通りである。

- 1) 個人的にも、又、協調のわざとしてもその奉仕活動を通じて Y M C A の活動の支援をする。
- 2) 市民的、国際的諸問題のただなかで一党一派に偏しない正義を追究する。
- 3) 宗教的、市民的、社会的、国際的諸問題について会員を啓発し、これに積極的に参加、連帯させる。
- 4) 健全な交友関係をつくり出す。

### 第 3 条 運営の原則

- 1) 本会は、特定の個人の利益を目的として、その事業を行わない。
- 2) 本会は、特定の政党のための政治活動の場としてはならない。



#### 第 4 条 事 業

本会は、その目的の達成のために次の各種事業を行う。

- 1) 会員の個人的修練及び各地ワイズメンと Y M C A 会員相互の友好を深める行事の開催
- 2) Y M C A に関する研究、並びに発達、改善に対する研究、助成、実施
- 3) 地域社会に対する奉仕、及び、青少年問題に関する事業
- 4) 国内、国外のワイズメンズクラブとの提携
- 5) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

## 第 二 章 会 員 及 び 会 費

#### 第 5 条 会員の資格

- 1) 会員は満 20 歳以上の成人で、人種、信仰、出身国等々の故に会員となり得ることを拒まれることはないが、本会に入会を希望するものは、京都パレスワイズメンズクラブの会員資格規定に基き、所定の入会手続により申込み、入会の諾否は、役員会に於いて決定する。

#### 第 6 条 会員の職業分類

本会は職業分類に限り、一業種 2 名を限度とし出来る限りの職域にわたる様に努める。

#### 第 7 条 会費及び入会金

会費は入会に際し、入会金を納め、又毎月所定の会費を納付すること。

入 会 金 円也

会費(月額) 円也

※ 但し、入会に伴う Y M C A 入会金と維持会費は Y M C A の規定に基づく。

#### 第 8 条 退 会

退会を希望する会員は、退会届を会長に提出し、役員会の承認を得ること。尚、退会してもその月迄の会費は納入すること。

## 第 9 条 会員の失格及び除名

会員が次の一つに該当する時は、役員会の決議により除名できる。

- 1) 定例会（役員会及びブリテン会議を除く）に連続して2回、無断欠席した場合
- 2) 会費納入の義務を履行しない場合
- 3) 本会の名誉を著しく傷つけ、その他会員として不適当と役員会で認めた場合

## 第 三 章 会 合

### 第 1 0 条 総会の決議事項

次の事項は総会の議決を必要とする。

- 1) 会則の変更、諸規則、諸規定の設定、及び変更、廃止。
- 2) 事業計画（収支予算の決定及び変更）
- 3) 事業報告（収支予算の承認）
- 4) その他、特に重要な事項

### 第 1 1 条 総会の種類

総会は定時総会と臨時総会の二種類とする。

- 1) 定時総会は毎年6月、12月の年2回とする。
- 2) 臨時総会は会長が必要と認めた時、或いは3分の1以上の正会員が会議の目的事項を示し、請求した時。

尚、総会は会長がその議長となる。

### 第 1 2 条 総会の成立

総会の定足数は会員の3分の2以上とする。議決は出席会員の過半数をもって成し、可否同数の時は議長がこれを決する。

### 第 1 3 条 例 会

本会は、京都パレスワイズメンズクラブ運営規定の定めるところにより、毎月2回例会を開く。

原則として第2、第4水曜日とする。

## 第 四 章 役 員

### 第 1 4 条 役員の種類と構成

本会に次の役員をおく。

会長 1 名，副会長 2 名，直前会長 1 名，書記 2 名，会計 2 名，事業委員長若干名

### 第 1 5 条 役員を選任について

役員を選任の方法に関しては別の定める規定による。

### 第 1 6 条 役員の任期

役員の任期は毎年 7 月 1 日より，翌年 6 月 3 0 日迄として再選を妨げない。

### 第 1 7 条 役員の仕事

会長は本会を代表し，会務を把握し，役員会を召集してその議長となる。

副会長は，会長を補佐し会長に事故ある時は会務を代行する。役員は会長を補佐し会務を処理する。

### 第 1 8 条 役員会と召集

1 ) 役員に依って構成し，会務を議決し執行する。

役員会は，毎月 1 回定例に開き，必要な時には臨時に召集する。

2 ) 役員会には，会員の全てが自由に出席し，意見が述べられる。但し，議決権はない。

3 ) ワイズメンズクラブ担当主事は役員会に出席せねばならない。

## 第 五 章 会 計

### 第 1 9 条 会計年度

本会の会計年度は 7 月 1 日に始まり，翌年 6 月 3 0 日に終る。

### 第 2 0 条 収 入

本会の経費は入会金、会費、寄附金、補助金、特別会費、その他の収入を以ってこれにあてる。

## 第 六 章 会 則 の 改 正

第 2 1 条 この会則は総会に於いて3分の2以上の同意を以って改正、補足することができる。

# 目 次 ( B )

## 京都パレスワイズメンズクラブ 運営に関する諸規定

第 一 章	総 則
第 二 章	役員 の 選 出 方 法
第 三 章	役員 の 任 務
第 四 章	事 業 委 員 会
第 五 章	集 会
第 六 章	会 員 の 入 会
第 七 章	慶 弔
第 八 章	接 待 費 及 び 旅 費
第 九 章	自 省 の 章
第 十 章	細 則 の 改 正
( 付 則 )	出 席 率 の 算 出 方 法 に つ い て

- 8) フェンド事業委員会  
奉仕活動に必要な資金の調達に関しての工夫と活動を行う。
- 9) ドライバー事業委員会
  - イ) 例会や、その他の会合で種々の計画やアイデアにより、その会を盛り上げ  
会員間の親睦を計る。
  - ロ) 会場内のテーブル、椅子の配置、歌集、万国旗、ベル、その他の会場の設営  
を行い、備品の管理を行う。
  - ハ) クラブ資金の調達のための工夫と活動、及び献金の斡旋
- 10) 特別事業委員会  
其の他、本会の運営上、特別に必要と認められる場合は会長がその委員会（PT）  
を構成することができる。

## 第 五 章 集 会

- 第11条 イ) クラブの定例会は毎月、原則として2回、第2、第4水曜日の午後7時～9時  
に開かれる。  
尚、定例会の集合時間は6時45分迄とする。
- ロ) 臨時例会は会長が召集し、全会員に通知して開かれる。
- 第12条 例会の運営は役員会の指示により、司会者が行うを原則とする。
- 第13条 役員会は、毎月定例に開かれる他、随時に会長が召集して開かれる。
- 第14条 例会にニコニコボックスを設け、これを有効に活用する。  
使途は役員会に於いて決定する。

## 第 六 章 会 員 の 入 会

第15条 会員となる候補者の姓名には、年齢、職業、勤務先、所在地、住所、電話番号、郵便番号、その他の関係事項を記入し、紹介者の署名を添えてEMC委員長に提出する。

第16条 役員会に於いて、候補者を受け入れるか否かを決定する。受諾の決定については、EMC委員長が紹介者に通知する。

第17条 申込者は入会式に出席して、紹介者によって会員に紹介される。

会長はワイズメンズクラブ会則の目的4ヶ条を申込み者に読み聞かせ、申込者がこれらの目的達成に協力する意志の有ることを確かめなければならない。申込者が受諾の意志を表明した時、正式に入会を認められ、ワイズメンの国際バッヂを用いることができる。

## 第七章 慶 弔

第18条 会員の慶弔に関しては、次の通りとする。尚、慶弔を受けた会員は返礼を必要としない。

- 1) 会員の結婚
- 2) 会員の子供誕生
- 3) 会員の死亡
- 4) 会員の配偶者の死亡
- 5) 会員の父、母、子供の死亡
- 6) 会員の疾病、災害、其の場合
- 7) その他、役員会が必要と認め決定した場合
- 8) 緊急を要し、役員会の開催決議を得る時間の余裕なき時は、会長は役員と協議して慶弔の方法を決定できる。但し、次回の例会に於いて報告すること。

## 第八章 接待費及び旅費

第19条 会長は、支給方法を役員会に於いて協議し、決定支給することができる。但し、次回の例会に於いて報告し、承認を得ること。

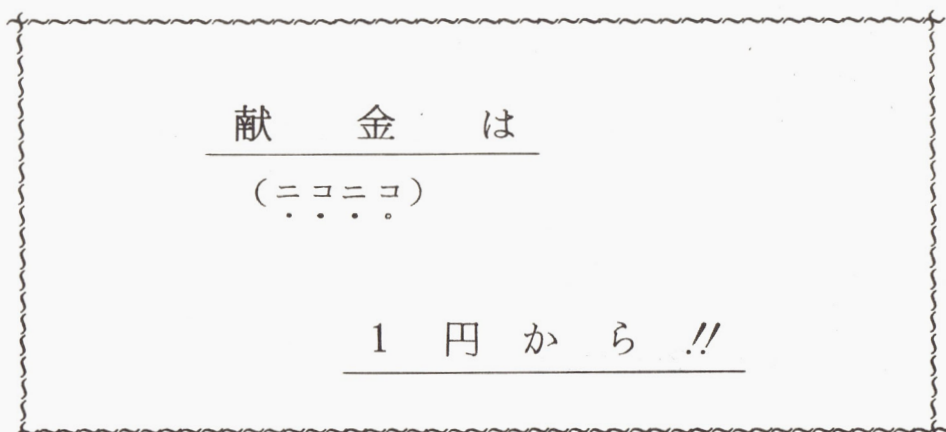
## 第九章 自省に関する章

第20条 クラブ意識の低下として察せられる次の様な場合は自らを省みるチャンスと判断し、自主的に自らに制裁を加える精神でニコニコボックスに献金するか、若しくは、体を使い奉仕することにより反省の色を態度で示すものとする。

- 1) 無断欠席の場合
- 2) バッジを例会、特別例会の際に忘れた場合
- 3) 遅刻の場合
- 4) 提出を求められた書類を期限内に出さなかった場合
- 5) 緊急連絡を忘れて、著しく迷惑をかけた場合
- 6) その他、自主的な判断に基づき著しく他人に迷惑をかけたと思う場合。

## 第十章 細則の改正

第21条 この規定は、総会で改正することができる。但し、改正案を全会員に通知することを要する。





## 付 則 出席率に関する章

ワイズメンズクラブにとって、例会出席は最大の関心事であり、出席なくしてクラブ意識の昂揚もなく、クラブ存在意義もない。クラブの個々が自らの出席率を高める為に全てに優先する努力を払わねばならない。何故ならば、全ての会員には、クラブの運営に直接参加する権利と義務がある。そして、クラブの運営の方向づけは例会の場に於いて決まるのであるから、この点を十分に理解し、個々に根強く浸透していくことが出席率向上の根本ともなり、クラブ発展の原動力になるからである。

A) 出席率の公表 出席奨励の方法として、ブリテン誌上に年2回、12月号、6月号に於いて個々の出席率を掲載する。

B) 出席率の算出

1) クラブの出席率計算方法

全会員数でその出席人数を割り、小数点3位迄算出し、3位4捨5入した百分の比(%)で表示する。

2) 第1.第2例会及び特別例会の出席の場合を算定の基準とする。

※ 但し、下記の場合は算出の基準に入れる。

イ) 区大会、部協議会に出席した会員の場合。

ロ) 内外の他クラブ例会に出席したことが届けられた時。

ハ) 国際大会、アジア大会、その他の国際的会合、並びにYMCAの国際的会合に出席のため、旅行中の会員は留守中のホームクラブでの例会は全て出席としてみなす。

3) 出席除外者

会員、及び下記の者は例会等に出席しても出席率に拘らない。

イ) 会員で病気や旅行で長期欠席を要する場合「休会届」として除外されている者  
但し、休会届を役員会に提出している者。

ロ) 入会式を終えていない候補者。

ハ) 来客として出席する他クラブ会員 その他

## 年度別役員一覧表

	71 <sub>3</sub> / <sub>8</sub> ~ 71 <sub>8</sub> / <sub>8</sub>	71 <sub>9</sub> / <sub>8</sub> ~ 72 <sub>8</sub> / <sub>8</sub>	72 <sub>9</sub> / <sub>8</sub> ~ 73 <sub>8</sub> / <sub>8</sub>	73 <sub>9</sub> / <sub>6</sub> ~ 74 <sub>6</sub> / <sub>6</sub>	74 <sub>7</sub> / <sub>6</sub> ~ 75 <sub>6</sub> / <sub>6</sub>	75 <sub>7</sub> / <sub>6</sub> ~ 76 <sub>6</sub> / <sub>6</sub>
会 長	西崎 照一	西崎 照一	大野 嘉宏	井上 猛	西川 寿一	大村 伝
副 会 長	森田 恵三	森田 恵三	井上 猛	宮本 隼史	大村 伝	木村 征三
”	井上 猛	井上 猛	西川 寿一	大村 伝	岡本 尚男	森田 恵三
書 記	大野 嘉宏	大野 嘉宏	大村 伝	西川 寿一	木村 征三	米谷 勝功
”	大村 伝	大村 伝	小谷 彰	木村 征三	米谷 勝功	柴田 公造
会 計	西川 寿一	西川 寿一	高橋 克二	森田 恵三	田中 勝	荒木貴美雄
”	高橋 克二	高橋 克二	森田 恵三	田中 勝	荒木貴美雄	南部 均
直前会長			西崎 照一	大野 嘉宏	井上 猛	西川 寿一
ブリテン	岡本 尚男	岡本 尚男	岡本 尚男	小谷 彰	柴田 公造	坂田 彦昭
Y M C A						
青 年	高田 博文	高田 博文	田中 勝	米谷 勝功	鍋田 雅己	大野 嘉宏
少 年		田中 勝	中村 外文	田口 嘉則	羽田 勝	宮本 隼史
会員奉仕	井上 猛	小沢清一郎	大槻 隆彦	高橋 克二	宮本 隼史	井上 猛
W O L	平井 知	小谷 彰	坂田 彦昭	坂田 彦昭	西山 英征	黒田 巖之
B F	米谷 勝功	米谷 勝功	宮本 隼史	南部 均	小沢清一郎	高橋 克二
C S						
P A S F	黒田 巖之	黒田 巖之	黒田 巖之	黒田 巖之	和田 四郎	中村 外文
E M C				西崎 照一	大野 嘉宏	西崎 照一
ファン				山田 博司	小谷 彰	岡本 尚男
ドライバー	采野 弘和	采野 弘和	木村 征三	鍋田 雅己	寺西 明	小谷 彰
アルバム		宮本 隼史	米谷 勝功	大庭三津雄	大槻 隆彦	田口 嘉則
H・C・C					西崎 照一	
担当主事	石本 忠義	石本 忠義	石本 忠義	石本 忠義	石本 忠義	石本 忠義

いざたて

1. いざたてところあつくし  
てをあげちかいあらたに  
われらのモットーまもる  
ふさわしその名ワイズ・メン  
たえせずめあてのぞみ  
この身をささげつくさん
2. うたえばところひとつに  
ともがきひろがりゆきて  
とおきもちかきもみな  
ささげてたつやワイズ・メン  
さかえとほまれゆたか  
まことはむねにあふれん



☆☆☆ パレシアン X'mas Song ☆☆☆

あーかい おはなの トナカイが  
あーかい ふくきた サンタのせ  
あーかい うわぎの ワイズメンに  
ほうびもつて やってき た  
りー りー  
りー クリスマス  
りー クリスマス は  
ずん で もえ ろ パレシアン

パレシアンクリスマスソング

(京都パレスワイズのクリスマスソングを祝いて)

作詞 元日本区副理事

奈良 吉太良

作曲 京都パレスワイズ

大野 嘉宏

一、赤いお鼻のトナカイが

赤い服装したサンタ乗せ

赤い上衣のワイズメンに

ごほうびもつてやって来た。

メリー メリー メリー クリスマス

メリー X'masはずんで燃えろ パレシアン

二、空にはキンキラお星さま

金のパレスの やかたでは

若い王子と王女たち

楽しく語るこの夕べ

メリー メリー メリー クリスマス

メリー X'masはずんで燃えろ パレシアン

三、まぶねで生れた イエスさま

古都で生れたワイズメン

手に手をつないで輪になって

レッツゴー レッツサーブイズ Y M C A

メリー メリー メリー クリスマス

メリー X'masはずんで燃えろパレシアン

註 パレシアンはPalacian 即ちパレスの人々の意  
はずんで燃えろは西崎会長のターゲット

# チャーターナイトの思い出



チャーターメンバー



チャーターナイト出席者一同

## Y's Men's Club の目的

1. 各地のワイズメンと YMCA 会員との友誼を深める。
2. ワイズメンに身近な市民としての問題、経済と社会の問題、また国際問題についてできる限り知らせあう。
3. 意義のある慈善事業や社会活動のため、実際に参加奉仕し、これを支援する。
4. 国内問題と国際問題とをとわず、常に政党派閥やセクト主義を超越して、正義と公正とを助長する。
5. 健全な人格をきずき、形式にとらわれない本当の愛国心を育成する。
6. YMCA の各方面のプログラムを遂行するため、個人としても、クラブとしても、精励活発に奉仕する。



February 3, 1971

Mr. Terukazu Nishizaki, President  
Kyoto-Palace Y's Men's Club  
7-3 Kamigamo,  
Iseihakari-cho, Kita-ku  
Kyoto, Japan

Dear Terukazu:

It is a great pleasure to welcome you into the family of International Y'sdom. It will be impossible for many of us to be physically present with you at your charter ceremony. However, our thoughts will be with each of you as you enter this fellowship.

International Y'sdom is truly an example of brotherhood. It is located in 47 countries. Over 20,000 Y's Men are sincerely committed to making "oneness" of all mankind a reality.

Congratulations and best wishes to all as you, too, begin your service to mankind through Y'sdom.

Y'sly yours,

John P. Price  
International President

JPP/jm



February 3, 1971



Mr. Terukazu Nishizaki, President  
Kyoto-Palace Y's Men's Club  
7-3 Kamigamo  
Iseihakari-cho, Kita-ku  
Kyoto, Japan

Dear Terukazu:

It was a real pleasure to receive Charter Application formalities for our new Y's Men's Club at Kyoto from Ichiro Torii, International Director. These are all in good order. Your Charter is being processed immediately and will go forward to Ichiro Torii. This should reach him in ample time for your Charter Night which is scheduled for March 14th.

Heartly congratulations to you personally upon being the first President of this fine new Club! This is indeed an honor, and we wish you the best of success! The foundation put into the Club during its first year, under your administration, will be a great factor in determining its future.

Our very best wishes to this new group. We hope that your Charter Night will be an outstanding success. Please extend my personal and official greetings to all those gathered for that occasion.

Y'sly and sincerely,

Gerald L. Heyl  
Secretary General

GLH/jm



16/2/1971

Y's Man Terukazu Nishizaki,  
President,  
Kyoto-Palace Y's Men's Club,  
7-3 Kamigamo,  
Iseihakaricho,  
Kita-ku,  
Kyoto,  
Japan.

My dear Y's Man Nishizaki,

Greetings to you from the Austral-Asian Region, Y's Men's International.

I am indeed very happy to know that your club in Kyoto has been chartered in January, 1971. You have come to the International Brotherhood of Y'sdom fully aware that this would give a better opportunity to the Y's Men of your place to do service to the humanity. In these periods of crisis the only answer that Y's Men could give is through ~~Y'sdom~~ Extension. We applaud the desire of your 24 Y's Men imbued with the great ideals of Y'sdom to do service to your unfortunate brotheren and thereby create a vision of service all over.

The International Y'sdom welcome you Y's Men, to its fold and I am sure this will openout new opportunities and new vision to the Y's Men all over.

Wish you all the best and may God bless you all.

With kind regards,

Y'sly and sincerely yours,

M. RAJENDRAN  
DIRECTOR  
For Austral-Asian Region  
Extension-Membership & Conservation.

cc John Price, Sinclair, Torii  
Jerry, Wallin, Kimmel, Lin,  
Harold, Koji Miura, Jorgensen



### 喜びのことば

日本区理事 鳥居 一 良

日本のふるさと京の町にワイズメンズクラブが生れて、はや23年の歳月が流れた。このあいだ、約8年前に福知山クラブを生み、2年前には日本区事務局の大役をはたし、活躍をつづけて来たが、いよいよ、ことし弥生の春、待望の京都第2クラブ誕生。土地柄、ゆかしくも京都パレスクラブと命名。心から「おめでとう」と申し上げて、新クラブの弥栄を祈ります。

昨年10月から、新クラブ発足のため、よき計画と準備のもと、祈りと熱誠をこめて、ひたすら前向きに奉仕をつづけられた北西部長の片山巖さん、現会長の小谷博康さん、前会長の西崎照一さんはじめ、京都Yの優れた主事さんたちや、数多くの京都ワイズのメンバーの並々ならぬワイズへの愛情と熱意とに対して、心からの感謝を捧げます。

どうか、わたくしたち一人一人が、YMCAという同じ幹につらなる枝であることを常に覚え、「権利を伴う義務を承認する」との国際標語をふまえ、「ワイズドムにより、一体となって」奉仕活動の輪を益々大きく広げてゆきたいと思いをします。



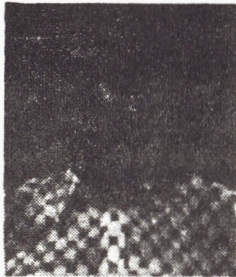
日本区副理事(東副区) 藤本 博信

今まで日本の六大都市に2つ以上のクラブのないのは横浜と京都でした。その京都に名前もふさわしいパレスクラブが生れることは本当に嬉しいことです。東部地区のワイズ一同より心からお祝い申し上げます。

今日からは日本46番目のクラブとして軌道にのるわけですが、その新しいクラブを生み出すためには生みの親として並々ならぬ苦勞と努力、又新しいクラブに喜んで有力なメンバーを割かなければならなかった京都クラブに敬意を表すると共に心からお祝いを申し上げます。

若々しい方を集め充分な月日を経て準備されたパレスクラブとしては、その実力を発揮する根強い基盤が出来上っていると云って良いでしょう。今後日本区内に於ける最も有力なクラブに発展し、親クラブに負けないクラブになれんことを心から期待しております。

3月14日



日本区副理事(西副区) 木下モモタロ

京都パレスクラブ御誕生おめでとうございます。

沢山の若々しいメンバーで、而も親クラブの京都クラブから6名もの優秀なメンバーが入られ、京都クラブとしては、本当に身を切られる思いだったことと存じます。然し乍ら、生みの親として子供を健全な健康体に育てる為には、人工栄養より母乳の方がより良いことは、何千年、何万年前より証明されて居ることと存じます。京都クラブとしてはこのことを卒先して実行されましたことに感謝と敬意を表します。

クラブを作ることはいと易い、だが持続、継続することは非常に困難でございます。日本では勿論、世界中のクラブでこの失敗をした例が数限りなくございます。生んだからには育てなければならぬという親の義務があり、生まれたからには育てて健全に成長しなければならぬという子の義務があり、親にも子にも双方に義務があると存じます。

本日おめでたく御誕生されました京都パレスクラブが、どうぞ健全に育ち成長されることを祈ってやみません。

本日は本当におめでとうございます。

## お祝いの言葉

北西部長 片 山 巖



京都クラブのスポンサーにより、ここにめでたくチャーターされましたことを心からお祝い申し上げます。

北西部に於ては、昨年10月にチャーターしました南山クラブに続き10番目のクラブであり、本年度中、2番目に発足するクラブであります。日本一のクラブ数を持つ我が北西部に属されることになり、部内各クラブと共にますますワイズダムのため誠実と努力をもって、その奉仕を大きく拡大して行きたいものです。

京都クラブは1963年にチャーターした福知山クラブのスポンサー以来、2回目の生みの親となるわけであります。そしてその絶えざる努力と祈りが実り、今日ここに発会加盟の運びとなったことを思い、感謝の気持で一ぱいです。その上私はこのスポンサー京都クラブに所属させてもらっていることに対し、幸運であり、光栄に存じます。昨年完成した新会館京都YMCA青少年センターに本拠を持つパレスクラブは、その青少年センターの持つ機能に合ったクラブとして大いにその働きを期待したいと思います。

いよいよ一本立ちされてからは新会員全員がチャーターメンバーの一員であるとの誇りを忘れてはならないことです。スポンサーの京都クラブとは幸い身近にあり、お互に情報の交換を密にされると共に、連合プログラムの推進と、たゆみない前進へ、奉仕の道を歩みつつ、行動力にあふれたすばらしい立派なクラブとして発展されるよう、心から祈ります。

## 国際協会加盟を祝福して

日本区名誉理事 奈良 伝(大阪)



発会して40余年、国際加盟後24年目の由緒ある京都ワイズ・メンズ・クラブを母体とする第2クラブとして、待望の京都パレス・ワイズ・メンズ・クラブが結成され、こゝにめでたく国際協会加盟が実現するにいたり、心より祝福のよろこびを送ります。

明治以来の三条青年会館が、その伝統を守りながらも宿願かない、京都御所の傍らに第2の拠点を獲得されたこと。それに対し大きな寄與を約束する担い手としてこれから新クラブの使命は重いと存じますが、昨年一月以来“親クラブ”が繰り広げた心づくしの慎重な準備が基をすえていただいただけに、立派に耐えて立ちうることを期待しております。殊に6人のベテランの移籍は素晴らしく、またチャーターメンバーの多くがYで育った方々であることは、特に頼母しい限りであります。

とは申すものの、YMCAの奉仕クラブと名乗っている以上、サービスの目的を達成することは仲々の努力を要することで、ワイズマン個人としても、クラブ全体としても大いに精励願いたい。その気を醸成するためのふくらまし粉“会員の交わり”に、とくにご配慮あらんことを切願いたしております。

(1971. 2. 18)



## 祝 辞

京都YMCA理事長 湯 浅 八 郎

半世紀の奉仕の歴史に輝やく国際ワイズメンズ協会の一員として、本日、京都パレスワイズメンズクラブが国際本部より認証を受けられたことは、誠に喜ばしいことであり、心よりお慶び申し上げます。

申すまでもなく、ワイズメンズクラブとYMCAは兄弟の関係にあり、ワイズメンズクラブが幾多のYMCAを発足させ、YMCAもまた、ワイズメンズクラブの発展に寄与して参りました。このよきパートナーシップが今後益々発揮され、両団体が提携して、現代社会の課題である諸問題に、積極的に具体的に応えてゆくことを期待するものであります。

この新しいクラブの誕生のために、あらゆる努力を惜しまれなかった鳥居日本区理事をはじめ各役員方ならびに京都の両クラブの会員各位に深甚なる敬意を表するとともに、京都パレスワイズメンズクラブが今後堅実な発展を遂げられ、神と人に喜ばれる活動を展開してその使命を達成せられますよう祈ってやみません。

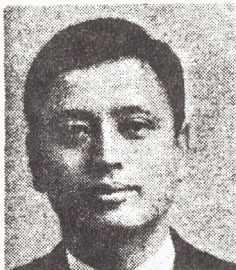


## お祝いの言葉

京都YMCA総主事 黒 田 巖 之

京都パレスワイズメンズクラブが、新しく竣工した本会の青少年センターを活動の拠点として発足し、本日、めでたくチャーターナイトを迎えられましたことは、誠に嬉しく、心よりお祝い申し上げます。

最近頃に活動が盛んになってきておりましたワイズメンズクラブが、遂に念願の第二クラブを設立されましたが、こゝまで漕ぎつけられた背後には、小谷・西崎両会長はじめ、役員各位の血の滲むようなご協力と、よきチームワークがあったことを知っている私にとっては、言葉の上でのおめでとうで言い盡し得ない、深い感動を覚えるものであります。今後は、京都ワイズ、京都パレスワイズ両クラブが、肩を並べてワイズダムを遺憾なく発揮せられ、YMCAに集う青少年のために、また地域社会のために、愈々奉仕の実を挙げられることを期待し、お祝いの言葉といたします。



## 努力と和

京都ワイズ・メンズ・クラブ会長 小谷 博 廉

世界中のワイズ・メンの祝福を受けて本日ここに京都パレス・ワイズ・メンズクラブが誕生しましたことをご報告します。

スポンサークラブとしましてメンバー全員本日この喜びはワイズの歴史が続くかぎり忘れることは出来ません。鳥居日本区理事をはじめとした日本区各役員および各地クラブのメンバーの方々のご協力とご指導に京都クラブを代表しましてあつく御礼申し上げます。

思い起しますに昨年一月より本格的にクラブ作りに入り幾多の困難な道を歩みました。しかし誰一人として弱音をはくものもなくただ前進あるのみでした。八年前に片山現北西部長を中心に福知山クラブをチャーターされた先輩の苦勞がひしひしと感じられます。そこで私は人と人との和の重大性を痛感しました。これまさに「ワイズ・ダムにより一体となろう」この標語を目標として努力する以外に何物もありません。まことに本日ここに至るまでの道は茨の道でただけに感慨もひとしおです。本日より世界のワイズ・メンズ・クラブの一員としてYMCAを通して社会にご奉仕することが出来ます京都パレスクラブの方々と共にこの喜びを隣人にもわけあたえて行きたいと思ひます。



## 京都パレス ワイズ メンズクラブ発会に当り

京都パレスワイズメンズクラブ会長 西崎 照 一

京都パレスワイズメンズクラブ発会に当り、京都の地に私達の懸案であった第二クラブが京都クラブのスポンサーによりここに目出度く誕生しました事をチャーターメンバー一同心より皆様方にお礼申し上げます。今後いろいろな壁にぶち当たりますが皆様方の声援を胸に「若さ」ということをキャッチフレーズにバリバリ前進していきたいと思ひます。

幸いにしてメンバー全員よくまとまっており雰囲気としては申し分ありません。誕生にあたりいろいろ抱負はありますがワイズメンズクラブの目的と意義を十分認識して課せられた義務を遂行して皆様方から祝福されるようになりっぱなクラブに成長する様にメンバー一同決意しております。今後共よろしく御指導下さる様をお願い申し上げます。発会に当りいろいろお骨折り戴きました日本区役員並びに京都のクラブ会長初めメンバーの皆様方に厚く感謝申し上げます。本当に有難う御座居ました。

第 I 部

認 証 式

AM 11:00~12:00 登 録

PM 12:00~1:00 認 証 式

司会 京都クラブ会長 小 谷 博 康

- |                 |     |                    |                    |
|-----------------|-----|--------------------|--------------------|
| 1. 開            | 会   |                    |                    |
| 1. 新メンバー入場      |     |                    |                    |
| 1. ワイズソング       |     |                    |                    |
| 1. 讃            | 美 歌 | 326番               |                    |
| 1. 聖            | 書   | マタイによる福音書5章14節~16節 | 次期京都クラブ会長 奈良 誠 治   |
| 1. 祈            | 禱   | .....              | 奈良 誠 治             |
| 1. 認 証 書 授 与    |     | .....              | 日本区理事 鳥 居 一 良      |
| 1. 式            | 辞   | .....              | 日本区理事 鳥 居 一 良      |
| 1. 祝            | 辞   | .....              | 日本区副理事 藤 本 博 信     |
| 1.              | "   | .....              | 日本区副理事 木 下 百 太 郎   |
| 1.              | "   | .....              | 北西部長 片 山 巖         |
| 1.              | "   | .....              | 日本区名誉理事 奈 良 伝      |
| 1. メッセージ披露      |     | .....              | 京都クラブ副会長 久 保 田 昌 二 |
| 1. スポンサークラブへの感謝 |     | .....              | 日本区副理事 藤 本 博 信     |
| 1. バナー贈呈        |     | .....              | 福知山クラブ会長 吉 田 謹 治   |
| 1. 決 意 表 明      |     | .....              | 京都パレスクラブ会長 西 崎 照 一 |
| 1. Y M C A の 歌  |     |                    |                    |

< 閉 会 >

# プログラム

## 第 II 部

### 祝賀パーティ

PM 1 : 00 ~ 1 : 30

写真撮影

PM 1 : 30 ~ 4 : 00

祝賀パーティ

司会

西崎照一

采野弘和

大野嘉宏

- |                 |             |             |       |
|-----------------|-------------|-------------|-------|
| 1. 食前の感謝        | .....       | 元日本区理事      | 松野文治  |
| 1. 乾 盃          | .....       | 元日本区理事      | 尾形繁之  |
| 1. 午 餐          |             |             |       |
| 1. 祝 舞          | 「島の千歳」..... | 若柳流         | 若柳松次  |
| 1. 来賓紹介         |             |             |       |
| 1. パレスクラブメンバー紹介 | .....       | 京都パレスクラブ会長  | 西崎照一  |
| 1. 祝 辞          |             |             |       |
| 1. 祝電披露         | .....       | 京都クラブ       | 小林元蔵  |
| 1. 余 興          |             |             |       |
| 1. 感謝のことば       | .....       | 京都パレスクラブ副会長 | 森田恵三  |
| 1. 閉会のことば       | .....       | 京都クラブ副会長    | 久保田昌二 |



# 出席者名簿

(順不同敬称略)

東京クラブ 田中真	広瀬道一 広瀬智子 猪瀬久雄 猪瀬好子 富山永潤 山田真子 森崎幸和 尾崎政明 尾崎志満 木村莊石衛門	中林村夫人 林英太郎 大阪土佐堀クラブ 坂口治男 今村一之助 三井考之 水島北保浩 中源佐藤正潤夫	杉邨誠造 野瀨千代三 久保田紀久子 中村清八郎 湯浅恵実子 塩内村米蔵 今村米蔵
東京むかでクラブ 藤本博文子 笈川文子	彦根クラブ 彦谷宏樹 久保喜則 中島達郎 安村正和	大阪堺クラブ 大樫恒一男 古木英一男 柳原周一男 柳原寛	京都パレスクラブ 西崎照一子 西崎淑恵三郎 森田恵四宏子 和田三孝寿子 大野川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴
東京江東クラブ 抱井五郎	福知山クラブ 福吉謹治 尾松繁夫 森川光雄 佐々木誠一郎 藤田四郎	西宮クラブ 西森義三 森義三	京都パレスクラブ 西崎照一子 西崎淑恵三郎 森田恵四宏子 和田三孝寿子 大野川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴
東京山手クラブ 笠谷陽一	富山クラブ 富石俊三	神戸クラブ 神尾隆昇 富藤英三雄 水鎌英忠	京都パレスクラブ 西崎照一子 西崎淑恵三郎 森田恵四宏子 和田三孝寿子 大野川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴
熱海クラブ 青木義明子 青木美代子	奈良クラブ 奈坂倉吉男 高佐藤正一雄 穴吉良美夫 治多和男	京都パレスクラブ 奈良三三 片山二一 山本津道太郎 村林元唯 保田昌博 谷谷上村村坂河	京都パレスクラブ 西崎照一子 西崎淑恵三郎 森田恵四宏子 和田三孝寿子 大野川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴
名古屋クラブ 鳥居一良 鳥居富美 津山貞康 相馬康人 久保田啓郎 小谷治彦 小木精之助 戸田早苗 成瀬晃三	大阪サウスクラブ 大三八好正夫 相田米造 松田米雄 大川崎梅村 木下百太郎 岩尾良越重 尾形繁文 松野文治 中村義	京都パレスクラブ 奈良三三 片山二一 山本津道太郎 村林元唯 保田昌博 谷谷上村村坂河	京都パレスクラブ 西崎照一子 西崎淑恵三郎 森田恵四宏子 和田三孝寿子 大野川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴
名古屋東海クラブ 黒田忠嘉子 黒田邦博 野村秋美博男 阿部秋美	南山クラブ 南村孝子 山地たか夫 服部光	京都パレスクラブ 奈良三三 片山二一 山本津道太郎 村林元唯 保田昌博 谷谷上村村坂河	京都パレスクラブ 西崎照一子 西崎淑恵三郎 森田恵四宏子 和田三孝寿子 大野川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴
金沢クラブ 金三田良信 中井理章 数沢輝夫 永野繁	近江八幡クラブ 小山西本吉 山本太	京都パレスクラブ 奈良三三 片山二一 山本津道太郎 村林元唯 保田昌博 谷谷上村村坂河	京都パレスクラブ 西崎照一子 西崎淑恵三郎 森田恵四宏子 和田三孝寿子 大野川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴 大大西川川口井井谷千鶴

計 152名

## ☆京都パレスクラブ発足に至るまでの経過

- \* 1970年1月より8月頃まで、西崎、大野、西川、小谷、梅本各兄が中心になりYMCA少年リーダーOB、育成メンバー、又、友人などよりニューメンバー獲得のため説明会5回開催する。
- \* 又、海外との交流、見学のため ①1970年1月(西崎、大野、西川、和田兄)台湾1週間 ②7~8月(並河兄)アメリカ東部2ヶ月間 ③7~8月(小谷兄)アメリカ西部、ハワイ、メキシコ、カナダ1ヶ月間 ④10月(和田兄)ハワイ1週間各地訪問
- \* 1970年9月3日 (西崎、小谷兄)クラブ発足について意見交換
- \* 9月7日 京都クラブ役員会で準備委員長に西崎照一兄を推薦 9月19日例会にて決定
- \* 10月2日 西崎、大野、西川、小谷、黒田、梅本兄によって ①準備委員 ②事務所(京都YMCA青少年センター) ③目標メンバー数(22名) ④京都クラブよりの移籍メンバー(西崎、大野、西川、米谷、中村外兄) ⑤ブラザークラブの件(ハワイ、アメリカ西部各1クラブ) ⑥準備委員会の運営の件(12月末までに委員のみ6回の集会)
- \* 10月13日 新メンバー2名出席。西崎兄よりワイズメンズクラブについて説明。次回よりのプログラムについて懇談。
- \* 10月22日 日本区事務長古木英男兄より国際ワイズメンズクラブとはについて学ぶ。その他、小谷兄(北米各地YMCA、ワイズメンズクラブについて)和田兄(ハワイYMCA、ワイズメンズクラブについて)の報告あり、新メンバーは7名出席。
- \* 10月30日 ①第2クラブ設立の必要性 ②YMCAとの関連 ③YMCA側の受入体制 ④Y'sメンとしてのボランティアスピリット ⑤スポンサークラブとしてなど基本的な問題について再確認した。出席は小谷、片山、和田、久保田、奈良、西崎、大野、井上、吉村、黒田、梅本、植、上阪各兄。
- \* 11月12日 鳥居日本区理事をお迎えして国際ワイズメンズクラブについて学ぶ。ニューメンバー8名。
- \* 11月24日 正式に京都クラブより移籍メンバーを西崎、大野、西川、和田、米谷、黒田各兄に決定。

- \* 12月8日 ニューメンバー12名, 移籍メンバー5名の参加を得て, クラブ名・事務所・ブレザークラブ・役員名などを決定(1月号ブリテンに掲載)
- \* 12月21日 12月仮例会 パレスメンバー15名 ゲスト2名の参加を得て ①チャーター時に於ける必要経費 ②例会日及び場所を決定。
- \* 1月14日 役員会 パレス役員6名にて ①チャーターナイトの時間割 ②各種印刷物の企画 ③会費納入方法 ④ブレザーコートについて討議
- \* 1月25日 新年会 パレスメンバー18名 ゲスト2名の参加を得て東山山ろく料亭“おなか”にてにぎやかに宴会を開く。
- \* 1月28日 役員会 パレス役員7名にて ①ブレザーの決定 \*印刷物 \*チャーターナイトの役割 ③協賛者の募集について討議。
- \* 2月10日 2月第1例会 パレスメンバー21名 ゲスト1名の参加を得て, チャーターナイトの企画委員とプログラム編集委員の二派に分れてそれぞれ討議する。
- \* 2月24日 2月第2例会 パレスメンバー22名 ゲスト2名の参加を得て ①アジアオーストラリア地区大会及び台湾地区大会参加者について計る。②企画, プログラムの二派に分れて討議 ③ワイズソング及びコーラスの練習。
- \* 2月28日 プログラム編集委員会7名 企画委員会5名
- \* 3月9日 合同役員会 チャーターナイトについて京都クラブ及びパレスクラブ合同で討議する。
- \* 3月10日 3月第1例会 ①チャーターナイトについての最終打合せ会 ②クラブソングの練習をする。